



平成 30 年 9 月 28 日(金)
練馬区立開進第四小学校
校 長 河 崎 晃 二

開四小だより

10月号

いよいよ運動会、一人一人が輝け

副校長 桐敷 芳子

明日はいよいよ第 64 回運動会です。地域・保護者の皆様には、準備や体調管理など大変お世話になっているところです。子供たちは自分たちで創作ダンスを考えたり、心を一つに目標を決めて取り組んだり、精一杯練習を重ねてまいりました。ぜひご来校いただき、大きな声援をいただければ幸いです。

＊

私が小学 6 年生の時の運動会は、途中で降り出した雨のために会の半ばで中止になってしまいました。午前中の競技が半分ほど終わったころです。会場にアナウンスが入り、雨が降り出しそうなのでこれ以降はいくつかの競技を選んで行うこと、6 年生は組体操だけ行うことが告げられました。かけっこも、騎馬戦もできませんでした。

一人技、タワー、扇、波、ピラミッド。額にあたる雨粒の感触。友達の体育着の背中に泥でくっつきついた足の跡。大きな声援に包まれて演技した興奮を、今でも覚えています。降り出した雨の中、誰も帰る人はいません。濡れながら応援してくれるお家の人や朝礼台の先生の緊張した顔から、自分たちにかけてられた期待を感じとることができました。思い出すと胸が熱くなるのです。

＊

もう一つ、忘れられない運動会があります。教員になって間もない頃のことです。私は得点係でした。何人かの子供たちと競技の得点を記録し、得点板に数字を取り付けていきます。その年の運動会は接戦で、赤白ともに最後まで抜きつ抜かれつ、互いに譲りません。後はいくつかの競技を残すのみです。全て終わって点数を集計すると、なんと赤白同点です。私たちは、計算をまちがえたのではないかと慌ててやり直しました。けれど、やっぱり同点なのです。

発表したらみんなびっくりするに違いない。どちらかが勝つのもいいけれど、今年は全員優勝なのだと思うと私たちは段々うれしくなってきました。そして、いよいよ閉会式での得点発表です。得点係の子供が得点板に数字を入れながらマイクで発表しました。すると会場が一瞬どよめき、その後弾けるように大歓声が起きました。そして、赤白全員で万歳をして、拍手で自分たちの頑張りを称え合ったのでした。あれから何回も運動会をしましたが、同点はそのときの一回きりです。

＊

自分の目標をもつこと。目標に向かって努力すること。仲間を助け、一緒に悩み、喜び合うこと。時に競い、時に称え合う素晴らしさを心に刻んでほしいと思います。気張れ、開四。一人一人が輝け。